

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

計画主体名	計画期間
<small>オオイタケン キツキシ</small> 大分県杵築市 <small>オオイタケン ユブシ</small> 大分県由布市 <small>オオイタケン サイキシ</small> 大分県佐伯市 <small>オオイタケン ダイヘヨウ</small> 大分県(代表)	(H21～H23) H21～H25

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
杵築市 産業建設部 農林水産課	0978-62-3131 (内線) 142	0978-66-1033	nourin-suisan@city.kitsuki.lg.jp
由布市 産業建設部 農政課	097-583-1111 (内線) 1342	097-583-1719	nosei@city.yuhu.oita.jp
佐伯市 農林水産部 耕地課	0972-22-3251 (直通)	0972-22-3477	inagaki@city.saiki.lg.jp
大分県 農林水産部 農山漁村・担い手支援課	097-506-3589 (直通)	097-506-1759	a15130@pref.oita.lg.jp

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標		増加率等	増加率等の算出
9 定住等の促進に資する 農業用排水施設等の機能の確保		(5.8ha) 103.5ha	計画区域における農業用排水施設等の機能の確保(ha) =計画期間内に農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され 機能が確保された農地の面積(ha)
事業活用活性化計画目標の設定根拠			
地区名(事業メニュー名)	目標の設定根拠		目標面積
杵築市川北地区 (農業用排水施設)	施設は、経年変化により既存排水路の雑石積が一部崩落、ハラミ等が発生し、脆弱化が進行しており、地域の農作物・公共施設等に 湛水被害を引き起こす恐れがある。そのため、農業用排水施設の改修を行い、受益面積5.8haの条件整備を行うことで、計画区域内 農地面積5.8haの機能確保ができる。		5.8ha
杵築市五田地区 (区画整理)	現況の水田の区画は、狭小かつ不整形で農道幅員も狭く、用排水路については土水路で用排水路が分離されていないため、営農 条件が悪く、農作業時や維持管理に多大な労力を費やしてきた。本事業にて区画整理を行うことにより、農業用水の安定供給、維持 管理費の低減、生産性の向上が図られ、経営が安定することで、当該受益地12.7haの機能が確保されるため設定した。		12.7ha
杵築市倉成地区 (農業用排水施設)	施設は設置から40年以上経過しており、老朽化等により、漏水が著しく、末端の受益に用水が供給できず営農に支障をきたしている 。また、取水管が狭小であるため、取水時にも時間がかかり、営農に支障を及ぼしている。そのため、農業用排水施設を改修し、条 件整備を行うことで、計画区域内の農地10.9haの機能確保が図られるため設定した。		10.9ha
杵築市八坂地区 (土地改良施設保全)	農道は、砂利道で降雨や農耕用車輛通行などによる路面浸食が著しく、円滑な車輛通行に支障を来すのみならず、農業生産物(イ チゴ、大根、なす、白菜)の輸送時に荷傷みによる品質低下を起こすなど、営農の大きな障害になっている。そのため、農業用道路を 舗装整備し、条件整備を行うことで、計画区域内の農地37.8haの機能確保ができるため設定した。		37.8ha
由布市塚原地区 (農業用排水施設)	本地区の幹線用水路は設置より約30年が経過し老朽化が進行しており、漏水等による慢性的な用水不足、維持管理費の増大等、 営農に支障を及ぼしている。本事業にて改修を実施することにより、農業用水の安定確保、施設補修費等の維持管理の軽減がで き、当該受益地24.0haの機能確保が図られるため設定した。		24.0ha
佐伯市大越地区 (農業用排水施設) (農業用道路) (創意工夫発揮事業)	本地区の農道は幅員が狭小で農作物の輸送及び通作交通等の効率が悪く、通行に危険を伴う状況もあり、また、用水路は老朽化が 著しく漏水が頻繁におこるなど、維持管理に苦慮している。また近年、鳥獣による農作物被害が甚大で、農家の生産意欲低下から離 農、耕作放棄地の増大が憂慮すべき事態となっている。本事業により、農道の拡幅整備、用水路の改修、鳥獣侵入防止施設の設置 を行い、営農条件を改善することで受益地12.3haの機能確保が図られるため設定した。		12.3ha
計画地区計			(5.8ha) 103.5ha

※上段()は変更前

II 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額算 定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
農業用排水施設	川北地区	農業用排水施設整備	農業用排水路 (L=29.5m) L=29.3m	H21	杵築市	10,000	5,500	5.5/10	5,500	排水路の改修を行うことで、作物生産性向上・維持管理費の節減、湛水被害の防止が図られ、農業経営が安定化され農家の定住が確保される。そのことにより活性化目標である定住人口の減少率の抑制が図れる。
区画整理	五田地区	区画整理	区画整理 A=12.7ha	H22～H25	杵築市	200,000	110,000	5.5/10	110,000	区画整理を行い、農地の集団化を促進することで、作業効率及び農作物の生産性の向上が図られ、農業経営が安定化され農家の定住が確保される。そのことにより活性化目標である定住人口の減少率の抑制が図れる。
農業用排水施設	倉成地区	農業用排水施設整備	用水路工 L=1,078m	H22～H23	杵築市	30,000	16,500	5.5/10	16,500	用水路の改修を行うことで、農業用水の安定確保による農作物収量の向上・維持管理費の軽減が図られ、農業経営の安定・意欲の向上及び地域農業の継続発展が図れ、農家の定住が確保される。そのことにより活性化目標である定住人口の減少率の抑制が図れる。
土地改良施設保全	八坂地区	農道保全対策	農道舗装整備 L=3,332m	H22～H23	杵築市	68,000	37,400	5.5/10	37,400	農道の舗装を行うことで、農耕用車輛の円滑な通行、農業生産物の品質の向上が図られ、農業経営の安定・意欲の向上及び地域農業の継続発展が図れ、農家の定住が確保される。そのことにより活性化目標である定住人口の減少率の抑制が図れる。
農業用排水施設	塚原地区	農業用排水施設整備	用水路工 L=148m	H22～H23	由布市	17,000	9,350	5.5/10	9,350	幹線用水路を改修することで、農業用水の安定確保や、施設補修費など維持管理の軽減が図られる。そのことにより地域農業が活性化し定住が確保され、活性化目標である定住人口の増加も図られる。
農業用排水施設	大越地区	農業用排水施設整備	用水路工 L=113m	H22～H23	佐伯市	2,900	1,595	5.5/10	1,595	用水路の整備を行うことで、農業用水の安定確保、施設補修費等の維持管理の軽減がなされ、農業経営の安定化が図られる。そのことにより、農家の定住が促進され、活性化目標である定住人口の減少抑制につながる。
農業用道路	大越地区	農道整備	農道整備 L=1,443m	H22～H24	佐伯市	91,400	50,270	5.5/10	50,270	農道の整備を行うことで、農業機械の導入や農作業の集中化により作物の生産性が向上できるとともに、維持管理費の節減ができ、農業経営の安定化が図られる。そのことにより、農家の定住が促進され、活性化目標である定住人口の減少抑制につながる。
創意工夫発揮事業	大越地区	鳥獣侵入防止施設整備	鳥獣侵入防止施設 L=11,214m	H22～H24	佐伯市	61,700	33,935	5.5/10	33,935	用水路整備及び農道整備にあわせて鳥獣侵入防止施設の整備を行い鳥獣被害を防止することで、作物生産量の増加につながり、農家の生産意欲の増大、農業経営の安定化が図られる。そのことにより、農家の定住が促進され、活性化目標である定住人口の減少抑制につながる。
合 計						(10,000)	(5,500)		(5,500)	
						481,000	264,550		264,550	

※上段()は変更前

